



東京大学先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム&トムソン・ロイター株式会社
オンライン・セッション

先端ビジネスロープログラム講演会

進化するAIと法務・ガバナンスのあり方 ～エージェントAI・フィジカルAI時代のリスクを探る～

2026. **3.24** TUE
17:00～18:45

講師

中崎 尚氏

アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
パートナー弁護士
国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 監事

はじめに

Legal Techへの取り組みについて
トムソン・ロイター株式会社
プロダクト・マーケティング部
部長 飯嶋 睦様



講演
概要

生成AIに続き、エージェントAI・フィジカルAIのビジネス活用の拡大に伴い、ディープフェイクやハルシネーション（幻覚）などの技術的・社会的リスク、知的財産・データ保護などの法的リスクなど、リスクが多様化し、AIガバナンスがますます重要になっています。政府によるビジネス活用の環境整備も、AI基本計画・AI指針の策定に引き続き、個人情報保護法の改正、AIプリンシプル・コード（仮称）の策定、AI事業者ガイドラインの更新等が予定されています。

本セミナーでは、生成AI・エージェントAI・フィジカルAIのビジネス活用をめぐるリスク、法務・ガバナンスの多岐にわたるトピックを、政府の動向を交えて概観した上で、各事業者が注意すべきポイントについて解説します。

講師
経歴

2001年弁護士登録、アンダーソン・毛利・友常法律事務所入所、2008年米国Columbia University School of Law (LL.M.)修了、2009年夏まで米国ワシントンD.C.のArnold & Porter法律事務所に勤務。当事務所に復帰後は、プライバシー・情報法、AI・メタバースなどの先端分野、EU法を中心に、国内外のオンラインビジネス・ITビジネス・様々な規制分野の事業者を幅広くサポートする。経産省「AI事業者ガイドライン ワーキング・グループ」構成員、内閣府「メタバース官民連携会議」委員ほか政府有識者委員を多数歴任。『メタバースを活用した社会課題解決への挑戦』（IPSJ・TTC共催、2026年2月）、『相談事例で学ぶ生成AIの活用と法務』（有斐閣、2025年12月）、『AI白書2025』（KADOKAWA、2025年3月）、『生成AI法務・ガバナンス』（商事法務、2024年4月）、『Q&Aで学ぶGDPRのリスクと対応策』（商事法務、第2版刊行予定）、『Q&Aで学ぶメタバース・XRビジネスのリスクと対応策』（商事法務、2023年3月）ほか執筆・講演多数。

参加方法・申込方法

当日はオンライン形式（Zoomウェビナーを利用）で開催します。参加ご希望の方は、前日3月23日（月）17時までに、<https://forms.gle/kFn9sihf1idetCx7> または右のQRコードからお申し込みください。

参加費は無料、参加資格は不問です。

Zoom URL含むご案内は、参加登録後、ご登録いただいたメールアドレスにお送りいたします。

【主催】東京大学大学院法学政治学研究科先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム

【共催】トムソン・ロイター株式会社

